

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
高等学校	慶風高等学校	田原 サヨ子
学校所在地		
〒 640 - 1363 和歌山県海草郡紀美野町田64番地 tel 073 (498) 0100 fax 073 (474) 5156 e-mail keifu@keifu-wakayama.jp		
担当者名	役職名・担	
田中 英子	教諭・社会科	
<b>〔学校の概要〕</b> 本校は広域通信制課程普通科として、平成17年4月海草郡紀見町に設立しました。昨年創立10周年を迎えました。平成27年度2月現在、生徒数 143名の小規模校です。「愛情をもって根気よく」の指導理念のもとに、教員と生徒相互の温かい人間関係を通じ、生徒一人ひとりの能力・適性を考慮し、自分の希望進路に向かって努力する生徒を育成しています。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年1・2・3年生50名	7名 職員 3名	・かつらぎ総合文化会館・丹生都比売神社周辺
実践研究テーマ		
世界遺産としての高野山を知り、その素晴らしさを体感する。		
実践教科等名	単元名	
学校設定科目 「高野山への道」	高野山を体感しよう！	
<b>〔キーワード〕</b> 世界遺産学習 郷土学習 体験学習		
<b>〔単元目標〕</b> (1) 高野山の歴史や高野山への道を調べ、先人の偉業を学ぶ。 (2) 世界遺産についての知識を深める。 (3) 県世界遺産マスターの説明を聞ながら、丹生都比売神社から、町石道の一部（丹生都比売神社～六本杉～古峠～二ツ鳥居～丹生都比売神社）を歩く。		
<b>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</b> 全体 20 時間 （「世界遺産」講義 1時間）		
<b>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</b> 和歌山県世界遺産センター・・・「世界遺産講座」 ・次世代育成事業・・・現地学習 和歌山県世界遺産マスター		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	授業 ・空海について調べる	・空海が高野山をなぜ信仰の地に選んだかを調べ、レポートにまとめさせる。	・空海について知ることができたか。
2	授業 ・空海の死後の高野山の現在までの歴史について知る。	・資料を配布する。 ・宗派発展には、政治力も必要なことを知る。 ・レポート作成する。	・現在の高野山の発展が様々な人の力でできたかを理解できたか。
3	授業 ・高野山参詣道について調べる。	・資料を配布する。 ・レポートにまとめる。	・歴史遺産が身近にあることに気づいたか。
4	DVD NHK「空海 ～歴史ヒストリア」の鑑賞	・空海の間像を端的に理解できる。	・ワークシート作成
5	平成 15 年 10 月 21 日 (木) 1. 「世界遺産講座」の講義を聞く。 2. 丹生都比売神社→六本杉→古埤→二ツ鳥居→丹生都比売神社 (5.8km) を歩く。	・「世界遺産センター」の職員の方に講義をしていただく。 ・グループ毎に県世界遺産センターマスター3 人の方に随行していただき、町石道の一部を歩く。	・感想文を書く。
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>成果 学習内容を書籍や資料を通して知るだけでなく、実際に「歩く」という行為を通じて、その「場」に身を置くという体験学習ができた。</p> <p>課題 单元学習の授業や資料を再考し、もっと内容を深めることが必要であった。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>丹生都比売神社にある「荘厳さや神秘さ」を生徒が感得できたようであった。</p> <p>丹生都比売神社→六本杉→古埤→二ツ鳥居→丹生都比売神社 (5.8km) の山道を歩き、町石と参詣道の素晴らしさを体得することができた。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産学習についての学習も单元学習に盛り込むこと。</li> <li>・先人たちが築いた遺産を未来へ残すために、生徒一人ひとりが何ができるかという視点をもつことができるようにしたい。</li> </ul>			

## 様式 2

平成 27 年度 「次世代育成事業」における学習記録 [概要報告書 学習記録・活動写真]



### 生徒の感想文

- ・世界遺産にも「世界自然遺産」「世界文化遺産」「自然と文化の複合遺産」の3種類あることを知った。
- ・世界遺産は、維持管理していかないと登録が抹消されることを知った。高野山の世界遺産がなくならないように、どんな形でもいいので貢献したい。
- ・丹生都比売神社に入ると、そこは「神の領域」で新鮮な気分になった。
- ・丹生都比売神社は、とても心が落ち着く場所でした。
- ・神社にお参りする時のマナーを教えていただいた。
- ・神社の鳥居の正しい通り方や入ってからの手の洗い方、参拝の仕方など今後につながる勉強ができた。
- ・神社自体がすごく美しかった。
- ・丹生都比売神社で、橋の真ん中は神様の通り道だから人間は端っこを通らなければならないことを知った。
- ・丹生都比売神社は、自然が素晴らしくてその場所にいるだけで気持ちが清められる感じがした。また、かなり山道を歩いたが、全然疲れを感じず逆に気持ちが良かった。また、いつか機会があれば行きたい。
- ・登っていて、1町（109メートル）毎に町石が建てられているのを見て長い歴史を感じた。
- ・石を一つずつ人が運んだと聞いて、昔の人は大変な事をしてすごいと感じた。
- ・山道を歩いていくと、1町ごとに建てられている町石は、どんどん進んでいる気持ちなり、達成感を感じた。
- ・町石道は最初長くてしんどいなと思ったが、自然と触れ合う内に、足が軽くなったような気がした。最後まで歩いて良い経験をした。
- ・町石道は、何百年もの年月をかけて今の道ができているのを見てすごいと感じた。
- ・「二ツ鳥居」で休憩時に見た景色がとてもきれいで、一気に疲れが取れた気がした。
- ・高野山町石道を歩いているとき、1200年前はどんなだっただろうと昔に思いを馳せて、厳粛な気持ちになった。
- ・1年ぶりの高野山であったが、やはり高野山は心が清められる良い場所だと思った。山道は荒れており、道のりも長くてしんどかったけど、空気が良く歴史を感じる道であった。
- ・今回訪問させてもらって、和歌山にも素晴らしい所があるので、今の状態を維持し続けて、僕らの次の世代にも継いでほしいと思った。